

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2024年3月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<継続>

- P1【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P2【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P4【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P5【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P6【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P7【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P8【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)
- P9【SaaS系企業】 アドビ(ADBE)
- P10【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)
- P11【IT大手】 IBM(IBM)
- P12【半導体】 アドバンスド・マイクロ・デバイセズ(AMD)
- P13【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
- P14【半導体】 アプライド・マテリアルズ(AMAT)
- P15【半導体設計】 シノプシス(SNPS)
- P16【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)
- P17【セキュリティ】 クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)
- P18【配車・出前】 ウーバー・テクノロジーズ(UBER)
- P19【大手銀行】 シティグループ(C)
- P20【防衛元請】 ゼネラル・ダイナミクス(GD)

(株価データ、株価指標は現地2024年2月28日現在)

<継続>

- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- 画像処理半導体(GPU)開発企業
- インターネット小売世界最大手
- インターネット検索世界最大手
- 米SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 肥満症薬で注目される米製薬大手
- クリエイター向けソフトウェア企業
- 企業向けIT管理ソフトウェア企業
- IT業界の老舗企業
- 米ロジック半導体大手
- メモリーチップの大手
- 半導体製造装置世界大手
- 半導体・電子部品設計ツール(EDA)大手
- 次世代ファイアウォール機器専門大手
- エンドポイント・セキュリティの次世代リーダー的存在
- 配車サービス世界最大手
- グローバル展開する総合金融サービス大手
- 防衛大手の連続増配企業

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

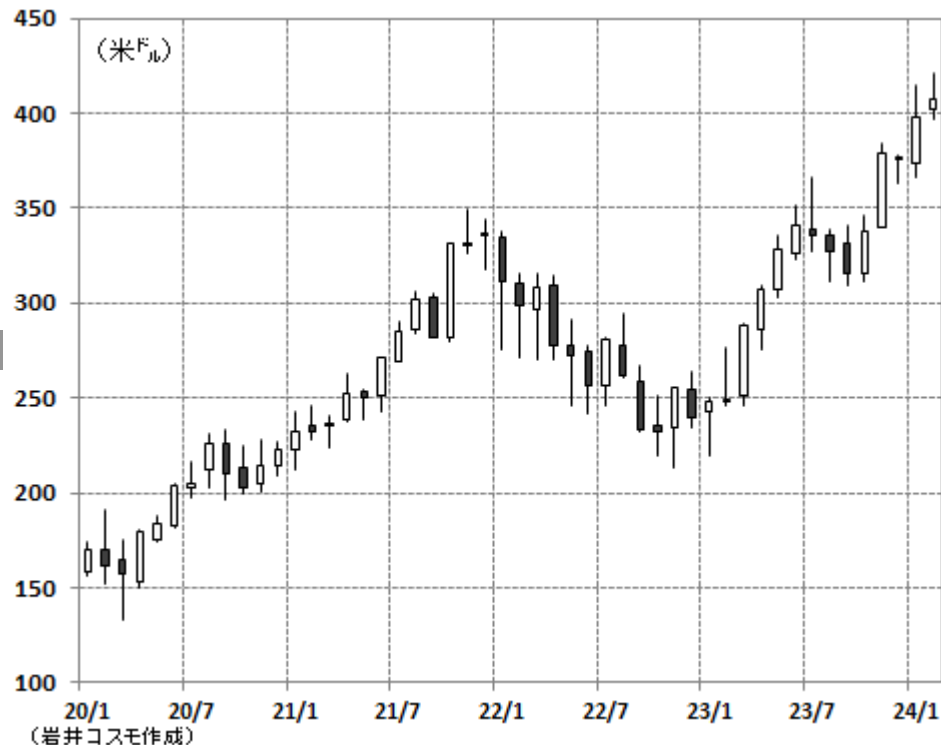
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **「ウィンドウズ95以来の革新」生成AIが実装へ**: 23年に9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資するオープンAIの基盤技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。サブスク料金として大企業向けは1人月額30ドルに、中小企業・個人向けは月額20ドルに設定された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	407.72 (02/28)
52週高値(日付)	420.77 (24/02/09)
52週安値(日付)	245.65 (23/03/02)
時価総額	3兆0.295億ドル 456兆5210億円
株価変化率(%)	26.0 (過去6ヶ月間) 63.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	36.9 (倍)
株価売上高比率	13.3 (倍)
PBR	12.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.74 (直近年率)
配当成長率(%)	10.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.2 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.72	2.72

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	52,747	—	20,399	—	16,425	—	2.20	0.68
2024/Q2	62,020	18	27,032	33	21,870	33	2.93	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **10-12月のiPhone売上高6%増**：10-12月期は前年同期比2%増収、13%最終増益。中国売上が同13%減と大幅に落ち込んだが、iPhone世界販売は同6%増となり市場予想を上振れ、音楽・映像・データ保管等のサービス収入が同11%伸びた。会社側は1-3月期売上は前年同期並みを想定する。

□ **AI機能強化路線へ**：次回6月更新の基本ソフト「iOS18」は多くの新AI機能が含まれると報じられた。次世代「iPhone16」もAI機能搭載のため仕様変更が行われ、半導体がより高性能化する可能性がある。10年間のEVの開発断念が2月末に伝わり、AI傾斜は必至。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	181.42 (02/28)
52週高値(日付)	199.615 (23/12/14)
52週安値(日付)	143.9 (23/03/02)
時価総額	2兆8,015億 ^{ドル} 422兆1529億円
株価変化率(%)	0.7 (過去6ヶ月間) 23.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.3 (倍)
株価売上高比率	7.4 (倍)
PBR	37.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.53 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	154.3 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績

2023/Q1	117,154	—	36,016	—	29,998	—	1.88	0.230
2024/Q1	119,575	2	40,373	12	33,916	13	2.18	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AIインフラの一翼を担う

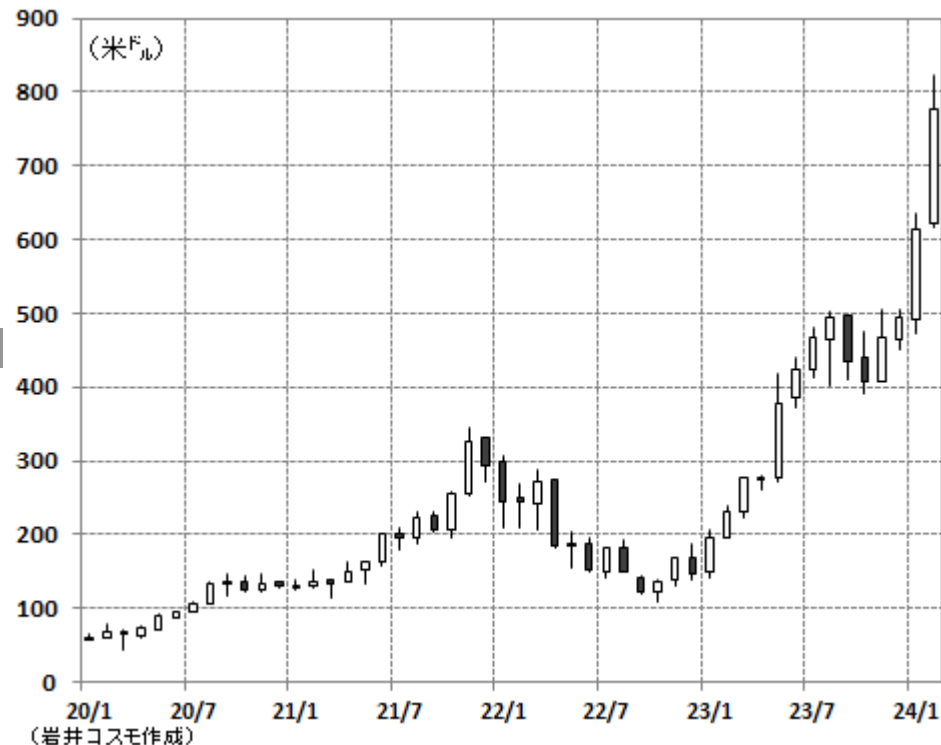
会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: マイクロソフトなどIT大手をはじめ人工知能の「機械学習」の計算処理に同社の半導体が利用される。コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルのものもあるが、AIインフラの必須アイテムとなっている。24年第2四半期に高性能GPU「H200」の販売開始を予定する。

□11-1月期決算は市場予想を超過達成: 11-1月期の売上高は前年同期比3倍超の221億ドル、純利益が同8倍超の123億ドル、売上・利益は市場予想を1割前後上回った。2-4月売上高見通しは240億ドル±2%とした。CEOは製品需要は年内供給を上回り続けると予想、供給拡大にもかかわらず、需要減速の兆しはないと言及した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	776.63 (02/28)
52週高値(日付)	823.94 (24/02/23)
52週安値(日付)	222.97 (23/03/13)
時価総額	1兆9,416億ドル 292兆5759億円
株価変化率(%)	65.8 (過去6ヶ月間) 234.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	64.4 (倍)
株価売上高比率	31.5 (倍)
PBR	45.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	91.5 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	11.93	0.16

四半期業績

2023/Q4	6,051	—	1,257	—	1,414	—	0.57	0.04
2024/Q4	22,103	4倍	13,615	11倍	12,285	9倍	4.93	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□**リストラ効果・AWS堅調・広告順調**：23年10-12月決算は収益性の大幅改善を伴う増益の着地。人員削減などを通じた経費抑制が奏功。売上内訳では歳末商戦が反映されたオンライン小売・直販は前年同期比9%伸びたほか、クラウドのAWSが同13%増、広告は同27%増で4四半期連続で伸びが加速。生成AIの買い物アシスタント「ルーフラス」をモバイルアプリに導入すると発表した。

□**NYダウ工業株平均採用**：指数管理会社ダウ・ジョーンズ・インデシズは2月20日、ダウ工業株平均銘柄に薬局大手のウォルグリーン・ブーツに代わってアマゾン株式を26日付けで採用すると発表、ウォルマートと並び米国の消費を代表する企業がダウ銘柄に加わった。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	173.16 (02/28)
52週高値(日付)	176.36 (24/02/26)
52週安値(日付)	88.12 (23/03/13)
時価総額	1兆7,987億ドル 271兆0429億円
株価変化率(%)	30.1 (過去6ヶ月間) 83.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	59.1 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	8.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.5 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	149,204	—	2,737	—	278	—	0.03	0.00
2023/Q4	169,961	14	13,209	4.8倍	10,624	38倍	1.00	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

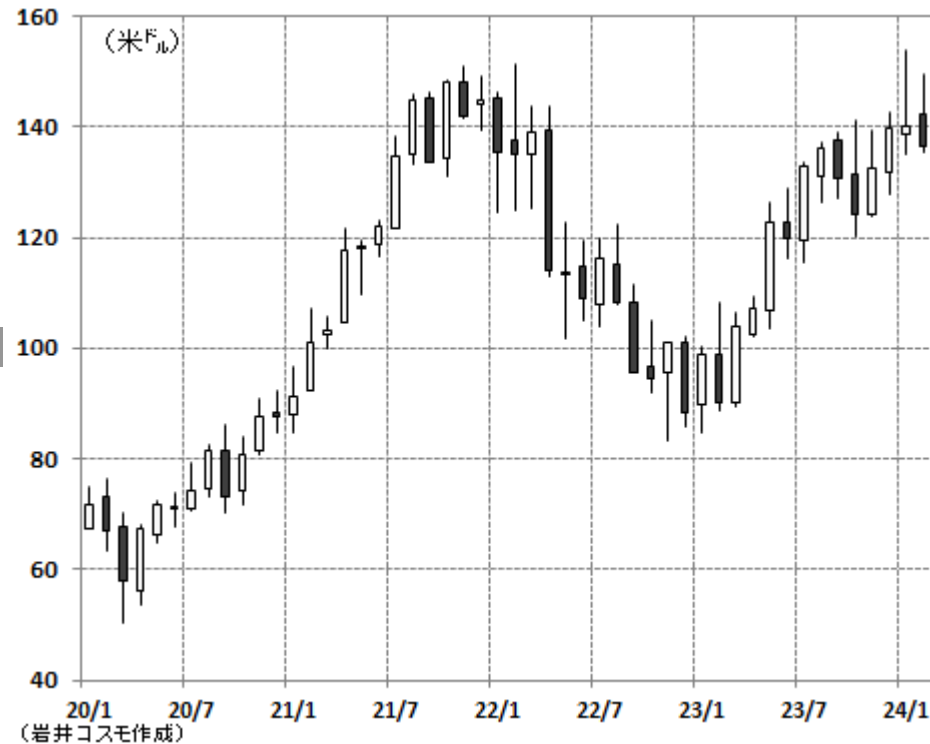
インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は182,502人(23年12月末)。

注目ポイント

- **収益性改善・成長加速**: 23年10-12月期決算は検索やYouTubeの広告やクラウドなどの各部門で売上高の前年同期比の伸びが7-9月期に比べて加速した。クラウド事業は26%増収となり、市場予想を上回った。またコスト削減の取り組みも奏功して各部門利益率も改善した。
- **MSと生成AI覇権争い**: 文書等の自動作成用の生成AIツール「デュエットAI」は1人当り月額30ドルとマイクロソフトの「コパイロット」と同額に設定し対抗。検索エンジン搭載の生成AI「バード」はジェミニに引き継がれ、テキストのみならず、画像・音声の入出力も可能に。性能別に3種類あり、モバイル端末から大規模データセンターまであらゆるものに対応する。2月に入り、競合ChatGPTが検索サービスを開発中と報道もあり、競争激化の様相。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	136.38 (02/28)
52週高値(日付)	153.78 (24/01/29)
52週安値(日付)	89.35 (23/02/28)
時価総額	1兆7,020億ドル 256兆4779億円
株価変化率(%)	4.1 (過去6ヶ月間) 51.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	22.9 (倍)
株価売上高比率	5.6 (倍)
PBR	6.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.4 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	76,048	—	18,160	—	13,624	—	1.05	0.00
2023/Q4	86,310	13	23,697	30	20,687	52	1.64	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

約40億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼働、Instagramなども含む)は全世界で39.8億人(23年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約67,317人(23年12月末時点)。

注目ポイント

□**売上加速・リストラ効果で利益急増**: 10-12月期の前年同期比・増収率が+25%と22年の減収時期を経て再加速。短編動画広告の収益改善やワッツアップのビジネスメッセージ、小売連動広告等の新タイプの広告やVR(仮想現実)端末「メタ・クエスト3」が伸長、人員削減・オフィス集約でスリム化が進んだ結果、利益急増が実現。初の現金配当の開始も発表された。

□**次世代大規模言語モデル**: 対話型アシスタント「メタAI」は23年末に米国で全面展開、次世代・独自大規模言語モデル「ラマ(Llama)3」を7月にも稼働させユーザーの質疑応答機能が強化されると報じられた。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	484.02 (02/28)
52週高値(日付)	494.26 (24/02/23)
52週安値(日付)	171.43 (23/03/02)
時価総額	12,344億ドル 186兆0115億円
株価変化率(%)	66.8 (過去6ヶ月間) 176.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.1 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前提当利回り(%)	0.41 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.0 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	32,165	—	6,399	—	4,652	—	1.76	0.00
2023/Q4	40,111	25	16,384	156	14,017	201	5.33	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□**トヨタも北米充電規格はテスラ式に**: 23年前半にGMやフォードがこぞって急速充電設備利用を目的にテスラが開発した充電規格「NACS」の採用を決め、テスラ式の北米充電規格の業界標準化が加速した。日本の自動車メーカーも日産、ホンダに続き、トヨタ自動車も10月に北米充電規格はテスラ式にすることを発表、テスラの優位性が増した。

□**次世代量産車の開発に集中**: 1月の決算発表で、24年の自動車納車台数の伸びは23年(前期比38%増)を大きく下回る可能性に言及。理由の一つに「次世代低価格量産車」の開発に専念することを挙げた。また最初の生産工場はテキサス州ギガファクトリーになるとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	202.04 (02/28)
52週高値(日付)	299.29 (23/07/19)
52週安値(日付)	152.37 (23/04/27)
時価総額	6,435億ドル 96兆9622億円
株価変化率(%)	-15.4 (過去6ヶ月間) -1.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	77.3 (倍)
株価売上高比率	6.6 (倍)
PBR	10.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.9 (%)
株式ベータ	1.57 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	24,318	—	3,901	—	3,687	—	1.07	0.00
2023/Q4	25,167	3	2,064	-47	7,928	115	2.27	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症治療薬に注目高まる

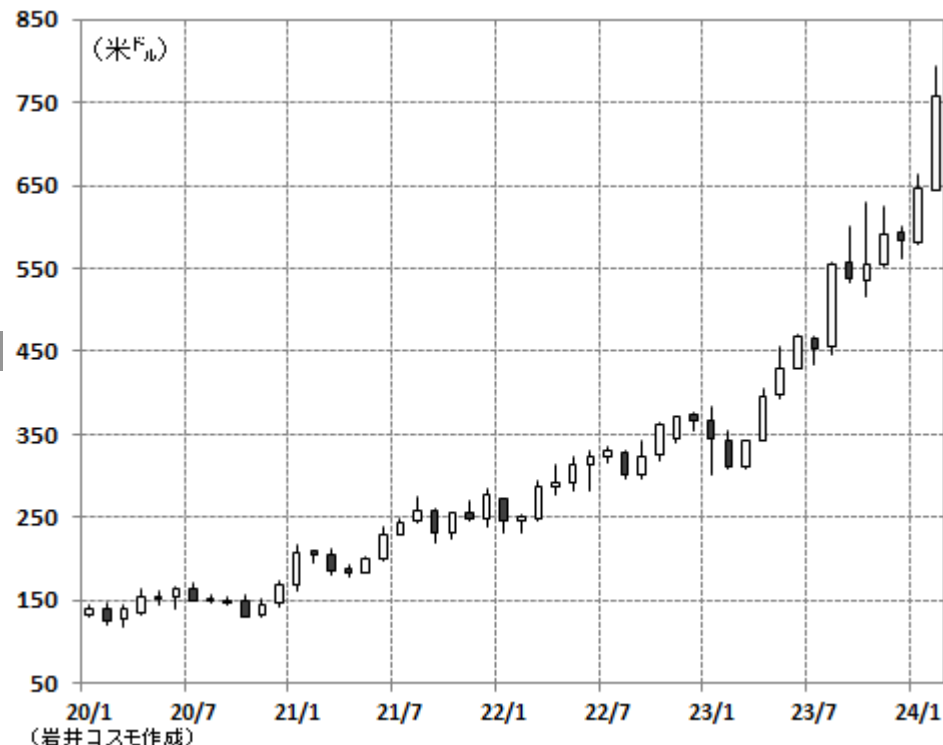
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヴェイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で売上急増、新薬開発も充実**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「セップバウト」の売上がけん引する格好で10-12月期売上は急増。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。同社は注射剤の「レタルトルド(第3相段階)」と経口タイプの「オルフォグリポン(第3相段階)」の肥満症の治療薬も開発する。

□ **アルツハイマー症の治療薬は審査中**: アルツハイマー型認知症の治療薬「ドナネマブ」は24年第1四半期の迅速承認、第4四半期のフル承認を想定、本格的な販売貢献は来年以降との見方を提示した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	757.64 (02/28)
52週高値(日付)	793.76 (24/02/16)
52週安値(日付)	309.2 (23/03/01)
時価総額	7,199億ドル 1,08兆4,791億円
株価変化率(%)	36.8 (過去6ヶ月間) 143.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	80.6 (倍)
株価売上高比率	20.0 (倍)
PBR	66.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.69 (直近年率)
配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	48.9 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	7,302	—	2,096	—	1,938	—	2.14	0.98
2023/Q4	9,353	28	2,509	20	2,190	13	2.42	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業、画像生成AIを強化

会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「acrobat」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレーター」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルトを取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、従業員数は29,945名(23年12月時点)。

注目ポイント

□ **画像生成AI「ファイアフライ」**: 簡単な文章を元に画像等を作成する生成AI「ファイアフライ」を9月に商用提供開始、10月には次世代を披露。描きたいものを文章で打ち込めば数秒で画像が出来上がる。試験公開以来45億超の作品が生成され、機能は各製品の最上位版に既に追加、11月より欧米ではサブスク料金が約1割値上げされた。

□ **競合製品現る**: 「ChatGPT」で知られるオープンAIが動画生成AI「ソラ(SORA)」を2月に発表、文字から複雑な動画を生成でき競合リスクが高まった。アドビは2月20日に文書ソフトのAIアシスタントのお試し版を発表、3月14日に次回決算、3月26日に投資家説明会を予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	551.82 (02/28)
52週高値(日付)	638.23 (24/02/02)
52週安値(日付)	321 (23/03/01)
時価総額	2,494億ドル 37兆5,855億円
株価変化率(%)	4.1 (過去6ヶ月間) 70.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	45.6 (倍)
株価売上高比率	13.0 (倍)
PBR	15.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ベータ	1.46 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/11	17,606	12	6,098	5	4,756	-1	10.10	0.00
2023/11	19,409	10	6,650	9	5,428	14	11.82	0.00

四半期業績

2022/Q4	4,525	—	1,505	—	1,176	—	2.53	0.00
2023/Q4	5,048	12	1,743	16	1,483	26	3.23	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

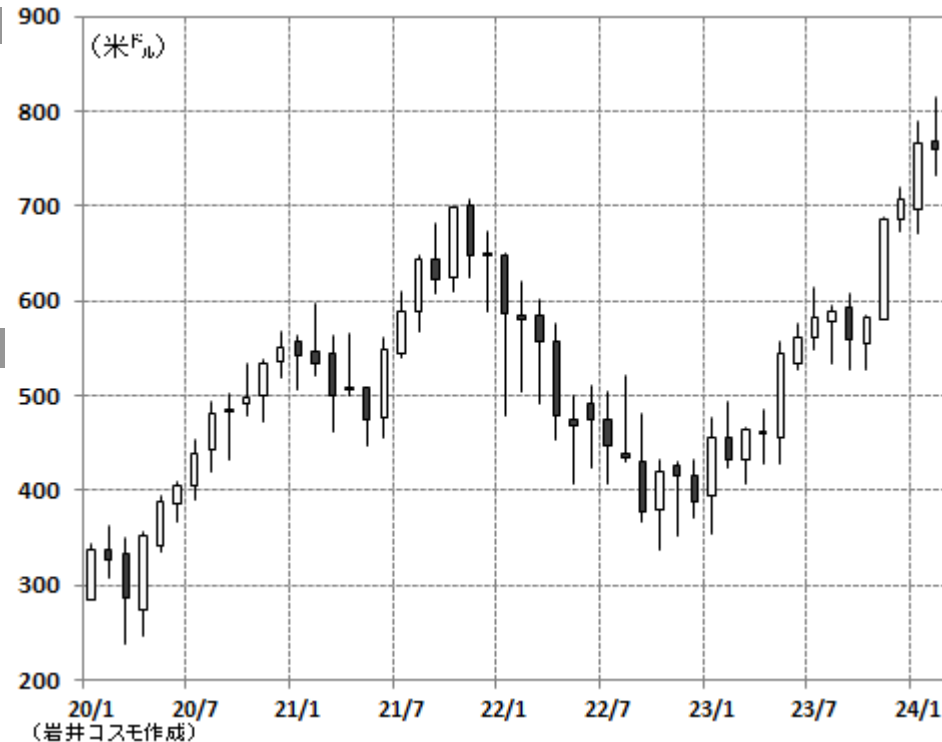
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は22,668名(23年12月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	759.79 (02/28)
52週高値(日付)	815.25 (24/02/09)
52週安値(日付)	406.68 (23/03/13)
時価総額	1,558億ドル 23兆4,710億円
株価変化率(%)	33.7 (過去6ヶ月間) 75.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	183.7 (倍)
株価売上高比率	17.3 (倍)
PBR	20.4 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.3 (%)
株式ベータ	1.45 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	5.3倍	8.42	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	1,940	—	155	—	150	—	0.74	0.00
2023/Q4	2,437	26	270	74	295	97	1.43	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

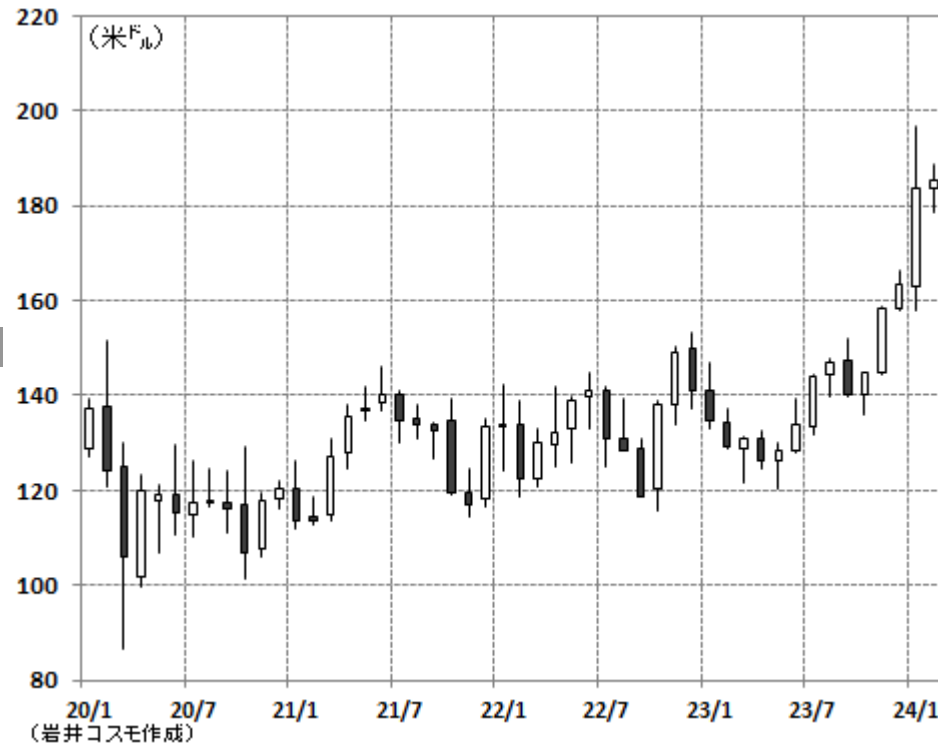
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソース大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。5月にAIに代替される業務の採用を停止すると発表し、経費節減にも尽力する。

□ **進化したAI「ワトソンX」**: 法人向けの人工知能(AI)「ワトソンX」を23年5月に発表、従来「ワトソン」より処理能力や使い勝手を向上させた。8月にマイクロソフト・アジュールと10月にAWS(アマゾン)との2強クラウドと提携し、「ワトソンX」の販売力を強化、試験導入する企業も増加中。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	185.3 (02/28)
52週高値(日付)	196.89 (24/01/25)
52週安値(日付)	120.55 (23/05/11)
時価総額	1,699億ドル 25兆5,981億円
株価変化率(%)	26.9 (過去6ヶ月間) 43.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	20.0 (倍)
株価売上高比率	2.7 (倍)
PBR	7.5 (倍)
税前配当利回り(%)	3.58 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.7 (%)
株式ベータ	0.77 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63

四半期業績							
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益
2022/Q4	16,690	—	3,312	—	2,711	—	2.96
2023/Q4	17,382	4	3,759	13	3,288	21	3.55

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに劣後も巻き返し目指す**：AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な存在。ただPCやサーバ向けCPUではインテルの方がシェアで勝り、GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝す。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、インテルやエヌビディアの牙城の切り崩しを画策する。

□ **高性能AI半導体を発表**：AMDは生成AIにも対応する高性能GPU「MI300X」を12月に発表・出荷開始、マイクロソフトやメタ等のIT大手が購入した。10-12月期決算で、データセンター向けGPUの24年売上高予想を従来の20億ドル超から35億ドル超に上方修正した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	176.54 (02/28)
52週高値(日付)	184.91 (24/01/25)
52週安値(日付)	76.66 (23/03/02)
時価総額	2,853億ドル 42兆9,845億円
株価変化率(%)	72.0 (過去6ヶ月間) 124.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	280.4 (倍)
株価売上高比率	12.6 (倍)
PBR	5.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	1.5 (%)
株式ベータ	1.50 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00
2023/12	22,680	-4	401	-68	854	-35	0.53	0.00

四半期業績

2022/Q4	5,599	—	-149	—	21	—	0.01	0.00
2023/Q4	6,168	10	342	黒転	667	32倍	0.41	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メモリーチップの大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

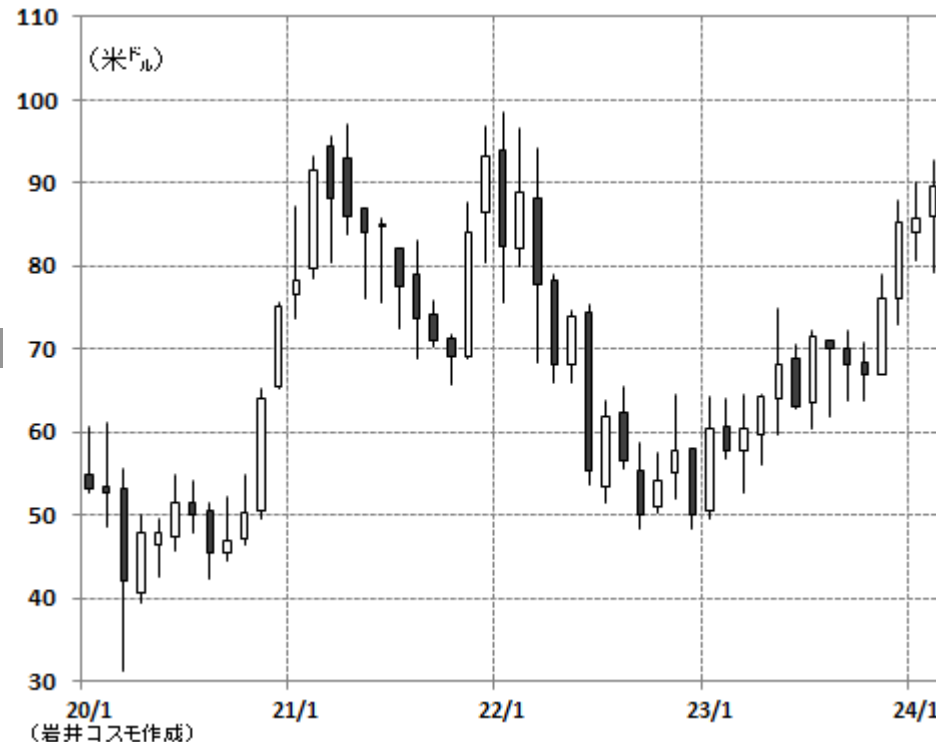
会社概要

1978年設立の半導体メモリー製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリー、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリー。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

□ **黒字化を視野に入れる**: 半導体メモリー市況はコロナ禍のPC特需の反動等から需給バランスが崩れ価格低迷、22年9-11月期以降、調整後ベースの営業赤字が続く。23年に各社生産調整を実施した結果、23年8月以降、製品価格が回復。9-11月期決算で会社側は収益改善が進み24年3-5月期の同営業黒字化を見込む。

□ **AI計算を支える超高速メモリー量産化へ**: 超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリー)がAI計算で需要が急増、韓国大手2社が先んじて供給してきたが、マイクロンはHBMを24年初めに量産化を開始、今期数億ドルの売上を見込み、収益改善への貢献も期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	89.71 (02/28)
52週高値(日付)	92.745 (24/02/27)
52週安値(日付)	52.76 (23/03/13)
時価総額	990億ドル 14兆9,231億円
株価変化率(%)	37.4 (過去6ヶ月間) 55.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	2.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.51 (直近年率)
配当成長率(%)	3.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-14.9 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460
四半期業績								
2023/Q1	4,085	—	-209	—	-195	—	-0.18	0.115
2024/Q1	4,726	16	-1,128	赤継	-1,234	赤継	-1.12	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体製造装置の世界大手、新製品投入効果に期待

会社概要

半導体製造装置の世界大手。半導体やフラットパネルディスプレイ等の製造装置や関連ソフトウェアを製造・販売。中核事業部門である半導体製造装置部門はチップ製造の主要工程全般の装置を手掛ける。主要顧客は台湾TSMC、韓国サムスン電子、インテル等で直販体制を敷く。米国、ドイツ、台湾、シンガポール等に生産拠点、本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は約34,500名(24年1月末時点)。

注目ポイント

□ **売上急増の可能性を示す**: 11-1月期決算で続く2-4月売上見通しは61億-69億ドルと中央値が市場予想を上振れ、半導体業界の回復の可能性を示した。11-1月期売上の45%は中国向けが占め、規制強化を見据えた駆け込み需要を反映。会社側は「ICAPS(IoT/通信/自動車/電力/センサー)分野」の製造能力の構築する動きを指摘、TSMCなど主要顧客の生産投資の増加の動きを示唆した。

□ **新製品効果に期待**: ASMLのEUV露光装置による電子回路転写工程の回数を2回を1回に減らし、省電力・コスト削減に貢献する新製品「センチュラ・スカルプタ」が今後の成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	197.54 (02/28)
52週高値(日付)	206.7 (24/02/16)
52週安値(日付)	109.13 (23/04/19)
時価総額	1,641億 ^{ドル} 24兆7,336億円
株価変化率(%)	35.8 (過去6ヶ月間) 70.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	24.1 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	9.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.65 (直近年率)
配当成長率(%)	23.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	46.4 (%)
株式ベータ	1.43 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/10	25,785	12	7,788	13	6,525	11	7.44	1.02
2023/10	26,517	3	7,654	-2	6,856	5	8.11	1.16

四半期業績

2023/Q1	6,739	—	1,970	—	1,717	—	2.02	0.26
2024/Q1	6,707	-0	1,967	-0	2,019	18	2.41	0.32

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体・集積回路の設計支援ソフトの世界大手、ソフトウェア検証も手掛ける

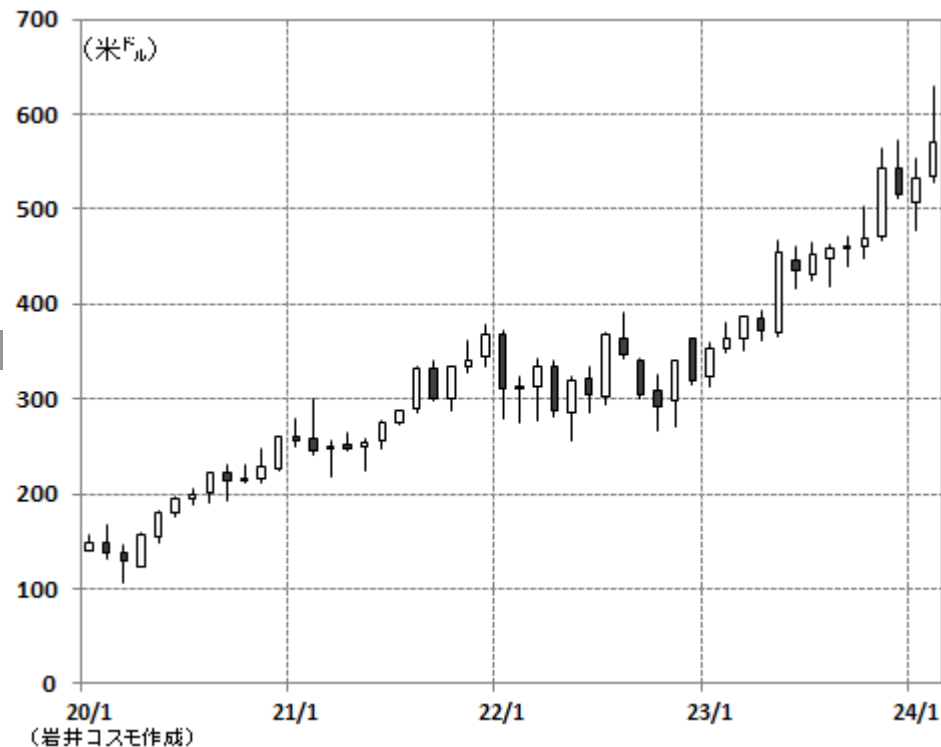
会社概要

世界中の電子部品・半導体メカ企業に半導体・集積回路及び電子デバイスの設計ができるEDA(設計の自動化ツール)製品を開発・提供。また電子システムやソフト向けの検証用ソフト・ハードも手掛ける。同社設計ツールは開発時間を短縮、製造コストを削減させたり、専用ソフトは開発ソフトの品質向上などに貢献する。23年度収益構成比は、EDAが63%、設計用IP26%、ソフト検証9%。S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□ **AI半導体等の開発強化でEDA業界が恩恵享受**: 顧客はIT大手等も含む半導体企業や電子部品等の開発企業。EDA業界ではライバルのケイテンスや独シ-メンズEDAと同社の3社しかなく、寡占状態。専門分野を棲み分けしつつ、高い収益性を確保。顧客の開発競争は加熱傾向にあり、EDAの利用増加に伴う収益拡大に帰結する。

□ **同業アンシス買収で合意**: 開発者向けシミュレーションソフトを手掛けるアンシスを1月5日に現金・株式交換方式により約350億ドルで買収すると発表、25年前半の手続き完了を見込む。製品統合を通じた業容拡大やシナジ-効果による費用削減が期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	570.28 (02/28)
52週高値(日付)	629.37 (24/02/22)
52週安値(日付)	350.8 (23/03/13)
時価総額	870億ドル 131,089億円
株価変化率(%)	28.5 (過去6ヶ月間) 56.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	62.0 (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	13.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.9 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	5,082	21	1,162	58	985	30	6.29	0.00
2023/10	5,843	15	1,269	9	1,230	25	7.92	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	1,361	—	256	—	272	—	1.75	0.00
2024/Q1	1,649	21	360	41	449	65	2.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手、統合型セキュリティ企業として存在感増す

会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代ファイアウォールの特徴は包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。M&Aにも長け業容拡大、本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **統合型セキュリティ企業としての強み**：全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ/サイバーエージェント/KDDI/東京大学等に導入実績あり。外からの攻撃を守るファイアウォールや最終端末防御、クラウド保護など幅広く網羅する統合型サービスが強み。無駄なIT支出抑制とセキュリティ環境の構築を両立したい企業ニーズを取り込み、従来型セキュリティ企業から市場シェアを奪取してきた。

□ **無料販促と政府案件未成約で下方修正**：11-1月期決算では収益改善の取り組みが継続、大幅増益となったが24年7月通期売上見通しを下方修正。他社移管の販促の無料キャンペーン強化や米政府の見込み案件が成約出来なかったこと等が要因とした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	316.15 (02/28)
52週高値(日付)	380.84 (24/02/09)
52週安値(日付)	176.303 (23/05/02)
時価総額	1,021億 ^{ドル} 15兆3,927億円
株価変化率(%)	36.0 (過去6ヶ月間) 67.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	137.9 (倍)
株価売上高比率	13.0 (倍)
PBR	23.4 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	89.5 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00
2023/07	6,893	25	387	黒転	440	黒転	1.28	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/Q2	1,655	—	40	—	84	—	0.25	0.00
2024/Q2	1,975	19	54	34	1,747	21倍	4.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)

高成長のエンドポイント・セキュリティ企業

会社概要

2011年設立の次世代サイバーセキュリティ企業。創業者のジョージ・カッツ最高経営責任者(CEO)は、米セキュリティ大手のマカフィーの幹部を経て、同僚のドミニク・アルペロビッチ氏と同社を立ちあげる。前々回の大統領選前の16年4月、米民主党中央委員会に対するロシア系グループのサイバー攻撃を発見し、一躍有名となる。人工知能(AI)とクラウドサービスを活用し、サイバー攻撃に対処する技術やサービスを提供する。

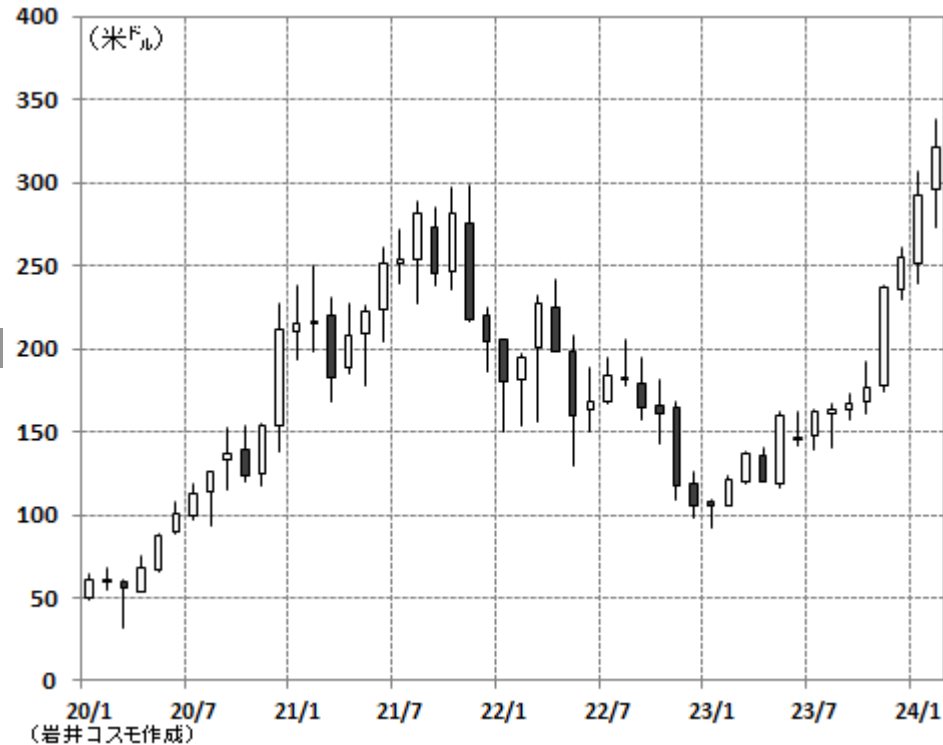
注目ポイント

□ **エンドポイント・セキュリティに強み**：同社はエンドポイント防御プラットフォーム(EPP)分野を代表するセキュリティ企業。顧客が使用するモバイル機器やサーバなどのエンドユーザー機器を保護、100%クラウド型の基本設計であり、クラウドを使用しない従来型に対して競争優位性を持つ。異なるIT環境にも対応可能で迅速に設定できる強みも持つ。

□ **収益性改善を明示**：9月の投資家説明会で今後3-5カ年度の中計目標を示し、調整後サブスク粗利益率82-85%(従来目標比4%分改善)、調整後営業利益率28-32%(同9%分改善)、純現金収支・売上比34-38%(同5%分改善)と収益性改善を重視する見込み。

上場市場
ナスダック

セクター
ソフトウェア



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	320.94 (02/28)
52週高値(日付)	338.01 (24/02/15)
52週安値(日付)	115.75 (23/05/03)
時価総額	771億ドル 11兆6,140億円
株価変化率(%)	122.8 (過去6ヶ月間) 165.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	26.7 (倍)
PBR	38.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-0.7 (%)
株式ベータ	1.34 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	1,452	66	-143	赤継	-235	赤継	-1.03	0.00
2023/01	2,241	54	-190	赤継	-183	赤継	-0.79	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	581	—	-56	—	-55	—	-0.24	0.00
2024/Q3	786	35	3	黒転	27	黒転	0.11	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ウーバー・テクノロジー(UBER)

配車/フードデリバリー・サービスを展開。最終黒字化実現

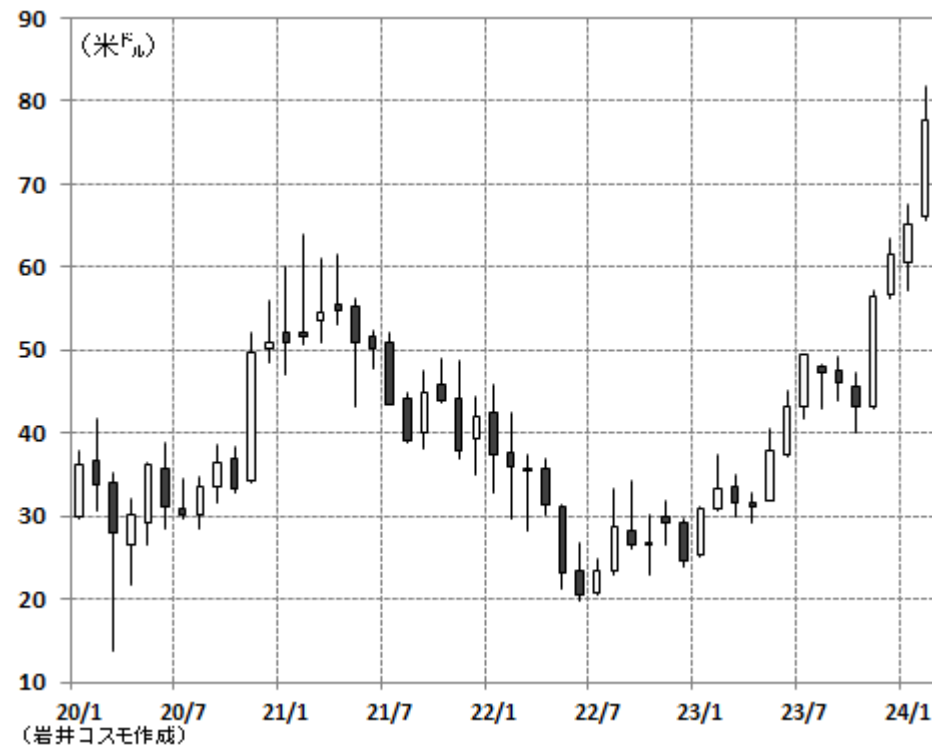
会社概要

米国最大のライドシェア企業、世界約70カ国でサービスを展開。「ウーバー・ブラック」や「ウーバー・X」等の乗客数や車種に応じたライドシェアリングを提供。ほか料理配送を請け負う「ウーバー・イツ」や荷物配送の「ウーバー・フレイト」事業も手掛ける。米国ライドシェア事業での市場シェアは7割強(23年12月)と2位のリフトを引き離す。2019年5月にニューヨーク上場、主要株主にソフトバンクG。23年12月にS&P500指数に採用された。

注目ポイント

□ **経営資源を集約し、黒字化定着**: 23年第4四半期に3四半期連続で最終黒字を達成。自動運転開発子会社の売却や経費節減に取り組み、コロナ禍で伸びた料理配送に加え中核の配車サービスを復活させたことが奏功した。日本、インドを含むアジア太平洋や中南米が特に好調。日本のタクシー会社のライドシェア市場に4月参入予定。

□ **初の自社株買いを発表**: 2月14日の投資家説明会では初の株主還元として最大70億ドルの自社株買い計画を発表。今後3年間の見通しとして為替変動除く総予約額の伸びを年平均「10台半ばから後半」、調整後EBITDAの同伸びを「30%台後半～40%」等とした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	77.73 (02/28)
52週高値(日付)	81.86 (24/02/15)
52週安値(日付)	29.225 (23/04/27)
時価総額	1,614億ドル 24兆3,223億円
株価変化率(%)	76.1 (過去6ヶ月間) 133.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	361 (倍)
株価売上高比率	4.2 (倍)
PBR	14.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.5 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,877	83	-1,832	赤継	-9,141	赤継	-4.65	0.00
2023/12	37,281	17	1,110	黒転	1,887	黒転	0.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	8,607	—	-142	—	595	—	0.29	0.00
2023/Q4	9,936	15	652	黒転	1,429	140	0.66	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

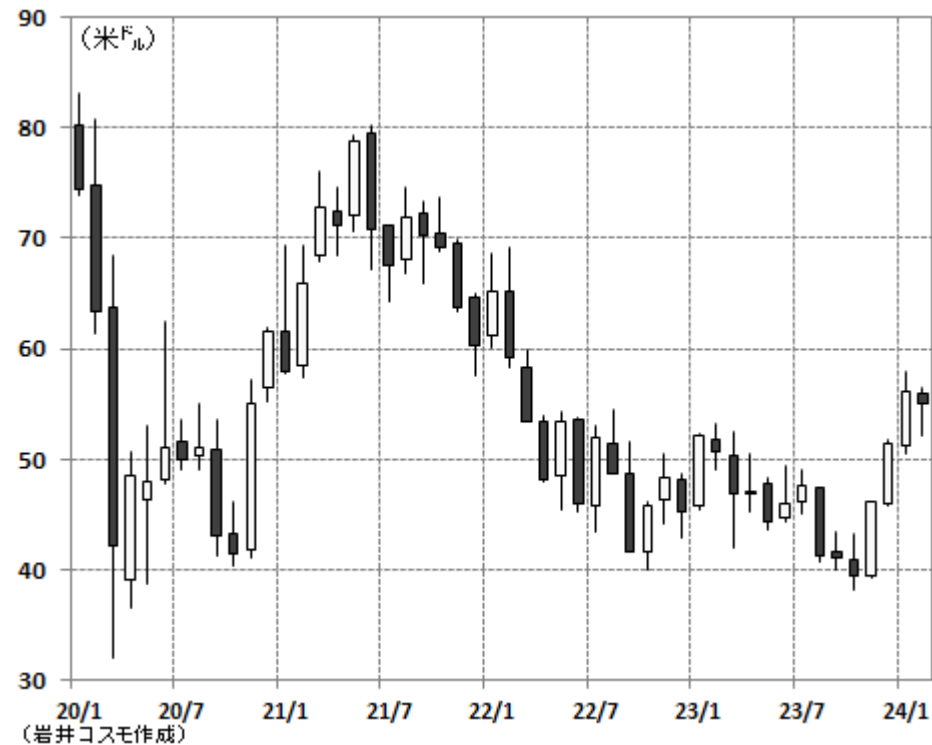
世界展開する総合金融サービスを提供する米銀行大手

会社概要

ニューヨーク州に本社を置く総合金融サービス持ち株会社。個人・法人顧客向けに多様な金融サービスを提供。新興国を含む約160を超える国及び区域で事業を展開、総資産は約2.4兆ドル、融資残高は6,894億ドル、預金残高は約1.3兆ドル(23年12月末時点)。23年に事業部門を再編し、トレーディング/投資銀行・融資/機関向け/米国個人向け/富裕層向けサービスの5部門体制に移行した。

注目ポイント

- 商業銀行と投資銀行を兼務、新興国にも強み**：商業銀行子会社シティバンクや機関投資家等を顧客とする投資銀行部門を傘下に持ち、他行に比べて新興国地域の収益寄与も大きい。為替取引の市場シェアでは長年、上位にランクされている。
- リストラ実行中**：ジェーン・フレイサー-CEOは簡素で効率的な銀行を目指して海外個人事業から撤退を進めてきた。中期経営計画では資本効率を大手並みに引き上げるべく、営業収益占める経費割合を6割未満に減らす目標を持つ。24年に入り最大25億ドルの費用節減につながる2万人の人員削減を発表。著名投資家ハフェット氏も再編継続を要望したと伝わった。24年度は前期比4-5%増収を見込む。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	55.05 (02/28)
52週高値(日付)	57.94 (24/01/31)
52週安値(日付)	38.175 (23/10/27)
時価総額	1,052億ドル 15兆8,557億円
株価変化率(%)	33.2 (過去6ヶ月間) 8.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.9 (倍)
株価売上高比率	0.7 (倍)
PBR	0.6 (倍)
税前配当利回り(%)	3.85 (直近年率)
配当成長率(%)	2.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.2 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

通期業績								
決算期	総収入 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	75,338	5	18,807	-32	14,845	-32	7.00	2.04
2023/12	78,462	4	12,910	-31	9,228	-38	4.04	2.08

四半期業績								
決算期	総収入 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	18,006	—	3,176	—	2,513	—	1.16	0.51
2023/Q4	17,440	-3	-2,103	赤転	-1,839	赤転	-1.16	0.53

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界有数の防衛・宇宙複合企業 中東・ロシア等、地政学リスク高まる

会社概要

世界有数の防衛・宇宙複合企業。航空/海洋システム/戦闘システム/情報機器の事業部門から成る。1899年設立の造船会社「エレクトリック・ボート」が源流。1900年に潜水艦を米海軍へ納入、1954年に世界初の原子力潜水艦「ノチラス」を製造した。M&Aを通じて現在は社員数10万人超を抱える総合防衛関連企業に変貌。毎年連続増配25年以上のS&P500配当貴族指数の構成銘柄に属する。

注目ポイント

□ **ビジネスジェットから原子力潜水艦、最強戦車まで製造**：現在の主力製品はビジネスジェットの「ガルフ・ストリーム」、次世代原子力潜水艦、M1エイブラムス戦車、スライカー装甲車等、民需用から軍需用まで多岐に亘り、各事業は長期契約に基づく。22年度の顧客別売上の内、米政府70%、米民間15%、米国外15%の構成、23年12月末時点の契約ベースの受注残高は1,320億ドルと3年分の売上高に相当する。

□ **新型ビジネスジェット機の初納入を予定**：超長距離の新型ビジネスジェット機「G700」の型式認証取得と初納入を当初より計画が後ずれしたが、24年1-3月期中に納入できる見通しを示している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	274.31 (02/28)
52週高値(日付)	274.9 (24/02/23)
52週安値(日付)	202.64 (23/05/30)
時価総額	752億ドル 11兆3,252億円
株価変化率(%)	21.7 (過去6ヶ月間) 20.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	22.8 (倍)
株価売上高比率	1.8 (倍)
PBR	3.5 (倍)
税前提当利回り(%)	1.92 (直近年率)
配当成長率(%)	4.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.6 (%)
株式ベータ	0.78 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	39,407	2	4,211	1	3,390	4	12.19	5.04
2023/12	42,272	7	4,245	1	3,315	-2	12.02	5.28

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	10,851	—	1,227	—	992	—	3.58	1.26
2023/Q4	11,668	8	1,288	5	1,005	1	3.64	1.32

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。